

成人向け

R18

◇ Adult only
◇ Unofficial fanbook

うすいからだ合同

創刊号

11月

わるい子クラ

豪華ゲスト陣による
漫画・イラスト集!

minayu

うらべさん

shibatenn

175

内藤さん

こかりあ

すてるすらいたー

IYA

エッチな漫画・イラスト・小説
ぎゅぎゅつと52ページ!

平たい胸の
アバタ!
フレンド!
大集結!!

うちの子
オリジナルR18漫画

サナティア 単話22ページ

+挿絵付き小説10ページ

デルタフレア・真冬/トラス
文・かーの、Tsumiki 絵・IYA

The VOYAGE



with KHMB

わるい子クラブ

2025/11/16 発行所: IYA
1919114514810

電腦

同人

見本市

VRChat

Ver1

漫画
読めます!

あります!!

2025
9月 **6日・7日**
土 日

GROUP+にて21時から開催 in VRChat









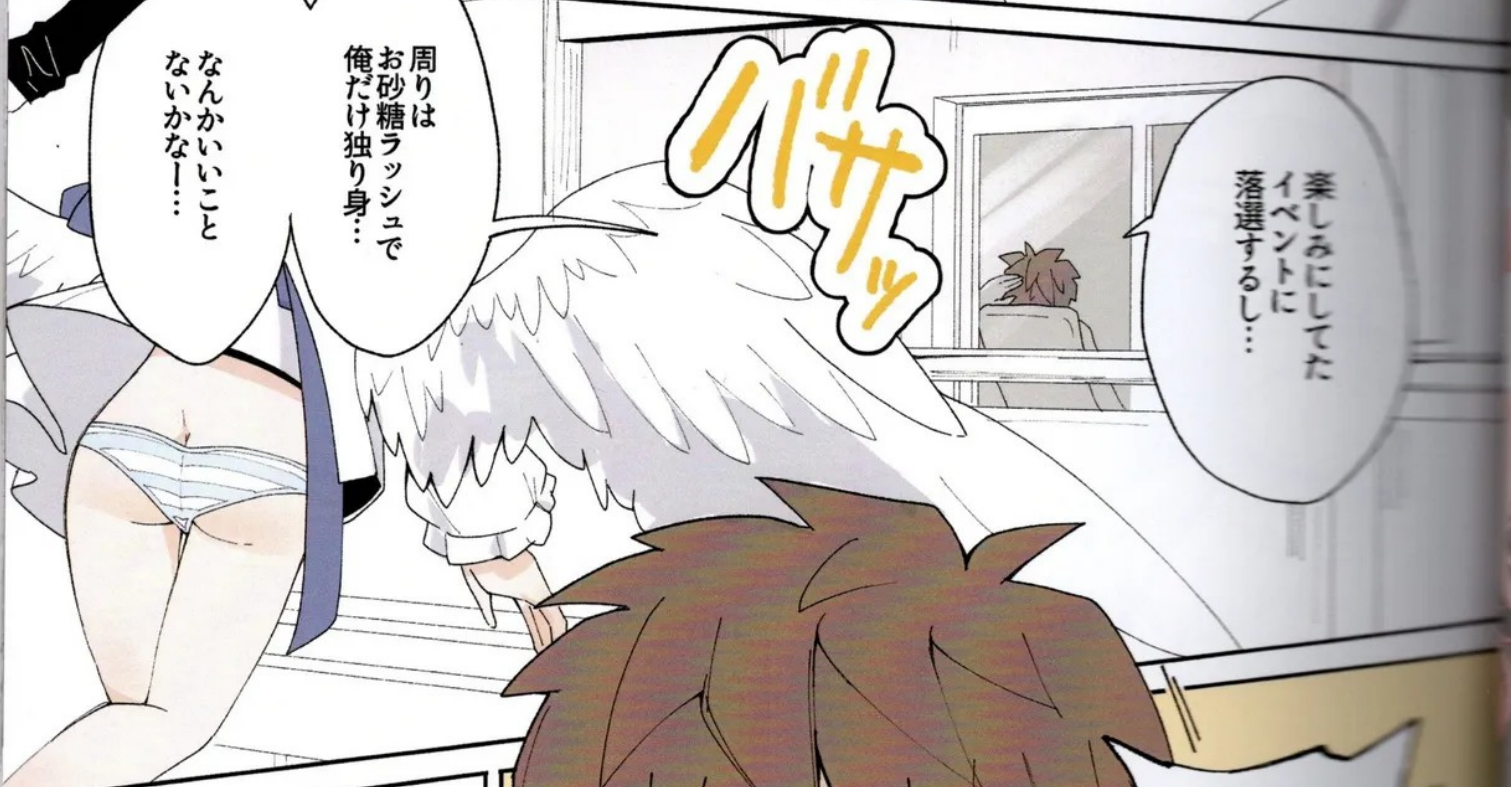






最近
ツイてないなー

ハア〜…



周りはお砂糖ラッシュで
俺だけ独り身…
なんかいいこと
ないかなー…

楽しみにしてた
イベントに
落選するし…

バサッ



なんだあつ!?

な



ジュッ

パンパカパーン!!

不幸なアナタに
救済を！

人類救済
プログラムの
デリバリー係、
サナティアちゃんが

かわいそうな君に
救いをお届けに
来ましたよ！

ズ
ザ
ッ

な...え？

いったい君は...

あたっ!?

ゴ
ン
ッ



はいっ
そうです！

で…要約すると
不幸が続きすぎた
恵まれない
俺みたいなのを
立ち直らせる
ために天界から
来たってこと？



正しい道へ人が進むためには
「ちようどいい」幸福度
導かなければ
ならないのです…

人は幸福か不幸か…
幸福すぎても
不幸すぎても
随分していいのです…



本当に愛を
知ることなく
このまま老いて
死ぬのみ…
あまりに
かわいそう…

お砂糖もない…
コミュニティは
痴情のもつれで解散…
人肌を求めてイベントに
応募するもすべて落選…



しかし
アナタ…

あたっ!?

そこで！
アナタが前を向いて
生きていけるように

ボクが願いをひとつ
なんでも
叶えてあげます！

ん？

ぽんぽん

じゃあ

セックスを
お願いします

えっ……

誰かしたい
相手が
いるんですか？

君と
したい

ボクとしたら
幸せになれるん
ですか？

ハイ

今……？

ハイ

うう……

でも幸せになる
方法なんて
ほかにいくらでも……

ほら旅行とか……
おいしい
食べ物とか……

それにボクとしたって
つまらないですよ
きつと...

ボクなんかの
体見ても
興奮しないと
思う...

胸もないし
寸胴だし...

キラ

そんなこと
ないっ!

キヤツ!?

なに
出して...

なっ

セックスと
いえばまず
前戯でしょ?

しらないよお...

はははは
しちゃってくだらぬ!

この...
おちんちんを...

でももう
出しちゃったもんは
しかたないし...

してくんないと
幸せになんないよ

うう...

ピキ



ほんとにボクと
えっちしたら
幸せになれるん
ですね？

なるなる

ウソじゃ
ないですよ？

うんうん

うう…
わかりました…



にぎにぎ

ぐんぐん



ちゅちゅ
うおおっ!!

ちゅちゅい舌が
アイスを舐めるみたいに
チロチロと…っ

…ちゅちゅ…ちゅちゅ…



はむ...

ちゅっ

ピロッ



ん...

ゆる



かわいいお口で
何度もつえばまれて...
刺激がたまらんっ...

ちゅっ

ちゅっ

天使のふわふわほっぺが
しっとり押し当てられて
気持ちいい...

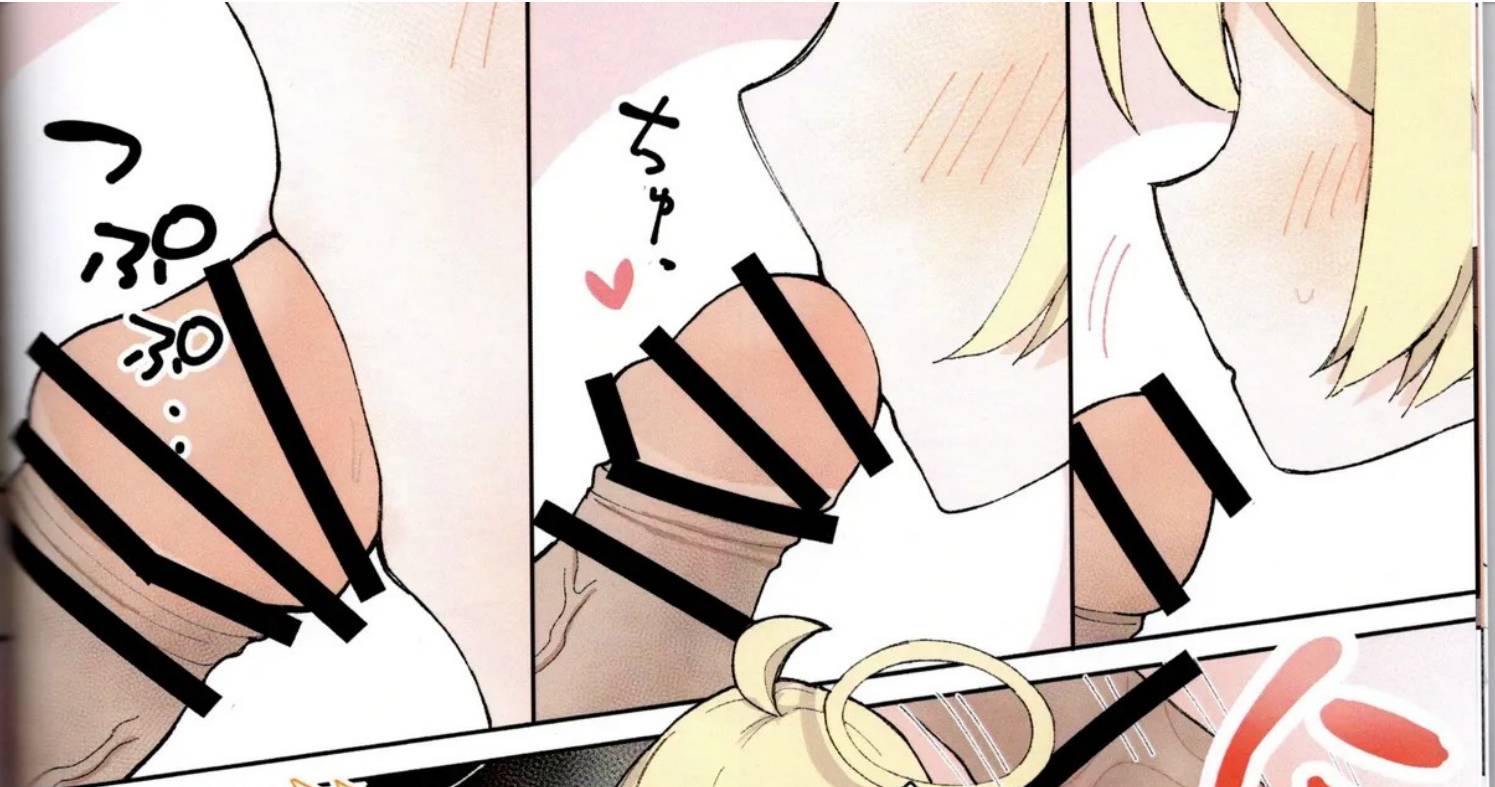
ふに
ふに

ふわ

ふに...

スリ...

...おろ...



しゅ
ぶぶ
ぶぶ

ちゅ

へんち

ヌルヌルなのに
きゅつと
吸いついてくる...

おふり

ちゅ

ちゅ

あったかい口内が
気持ち良すぎて
すぐイキそうだ...

くうっ





天界になって
報告すれば...

ヌヰッ



うう...

いきなり出すから
服が汚れちゃった
じゃないですか...

ド



やだ...

プ...

服の下まで
べとべと...

スル...

人間さん
何か拭くもの
ありませんか?

あつ
下まで垂れて
きた...

どうしよう...
とりあえず拭いて...



ムク

ムク

ムク

ムク



アッ

あっ!?

っは...

んっ...んん...

ふに

ふに



う...
頭がふわふわ
してきた...

あ

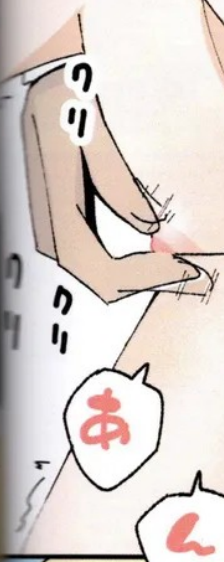
ずっと乳首
いじられてる...

あ

んっ...

あ

んんん



サナティアちゃん
顔あげて

え?







ひえ…

ピリッ

ズイッ

やっぱり今からでも
考え直して…

ボクの…
小さいし
入らないよ…

一段と大きく
なってる気がするし…

ああの
さっき出した
ばっかでもうこんな
勃ってるの…?

おず…

え？
やめるの？

そう言われても
もうまんなこは
準備万端のように
見えるけどなあ

え？

気づいてないんだ
もうすっかり濡れて
ヒクヒクしてるのに

早くちんぽ
入れてほしいって
ねだってるみたいだよ

ウン
ウン
ウン

ちよっ

見ないでっ

ヒッ

ヒッ

ほらちんちん
あてがってるだけで
勝手に入ってく

啜えこんで離さない
みたいにキュウキュウ
締め付けて...

ぶっ
ぶっ
ぶっ

こんなに
濡れてるなら
もう...あ...すぐ...

お望み通りもう
入れてあげる
からね...

身体が欲しがって
無意識に
受け入れてるんだ

挿入っ...

まっ

ちよっ

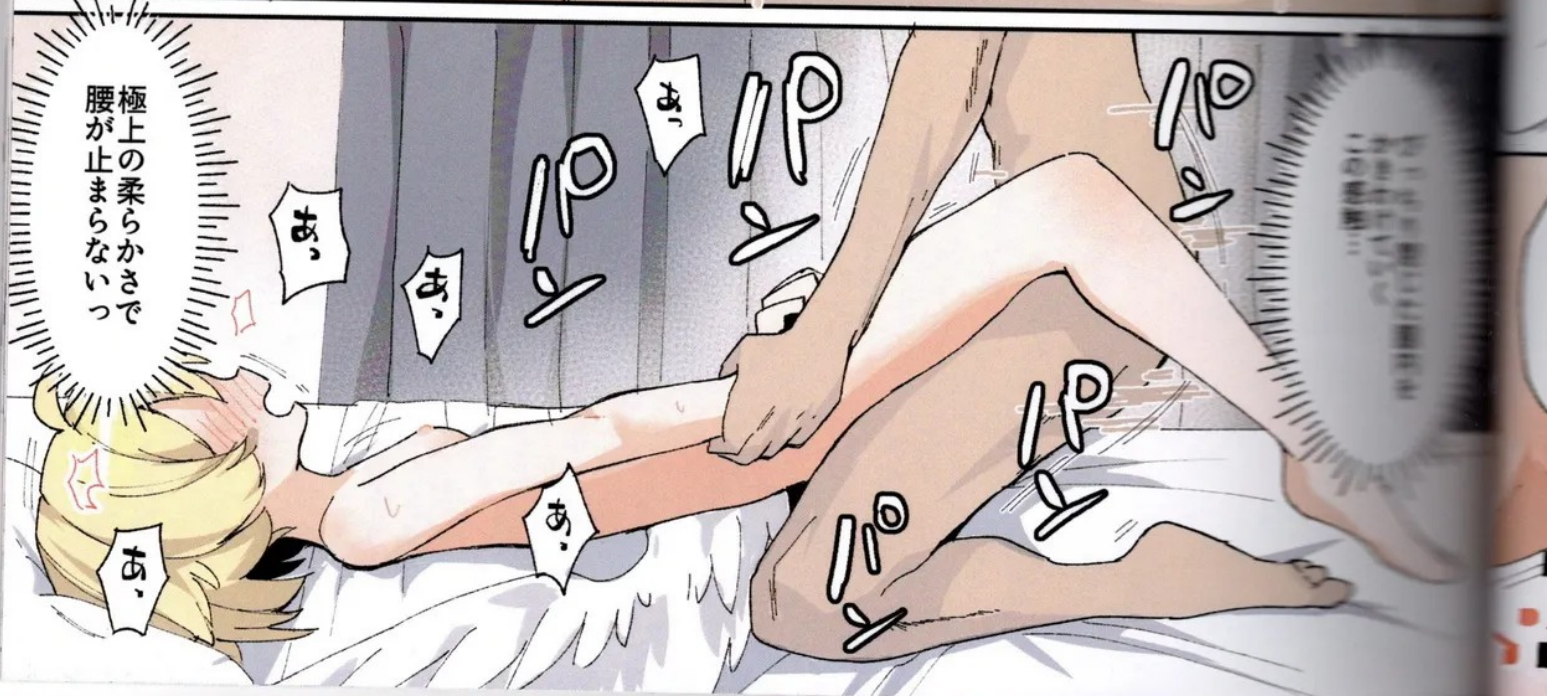
ヌ
ヌ
ヌ

ニ
ニ
ニ

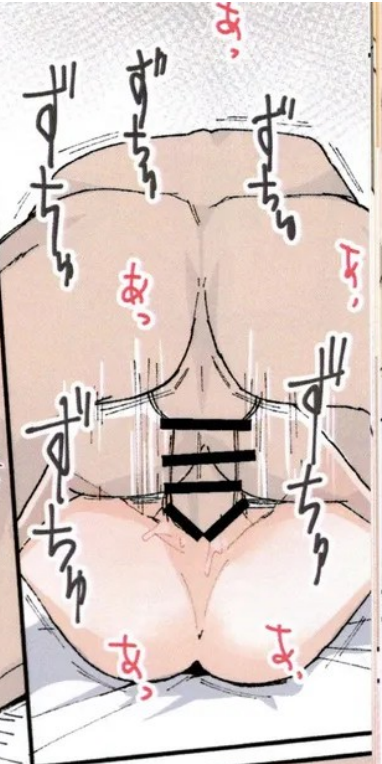


ヤバ:天使のまんこ
気持ちよすぎる...

ほかほかで温かくて
ふわトロで...



極上の柔らかさで
腰が止まらないっ



っていうか
感度良すぎるだろ



めちやくちや
喘いじやつて...
やつば
えっちな子
なんだ



ボク...
ほんとに
そういうの
したことない...

えっち...
じゃないもん...

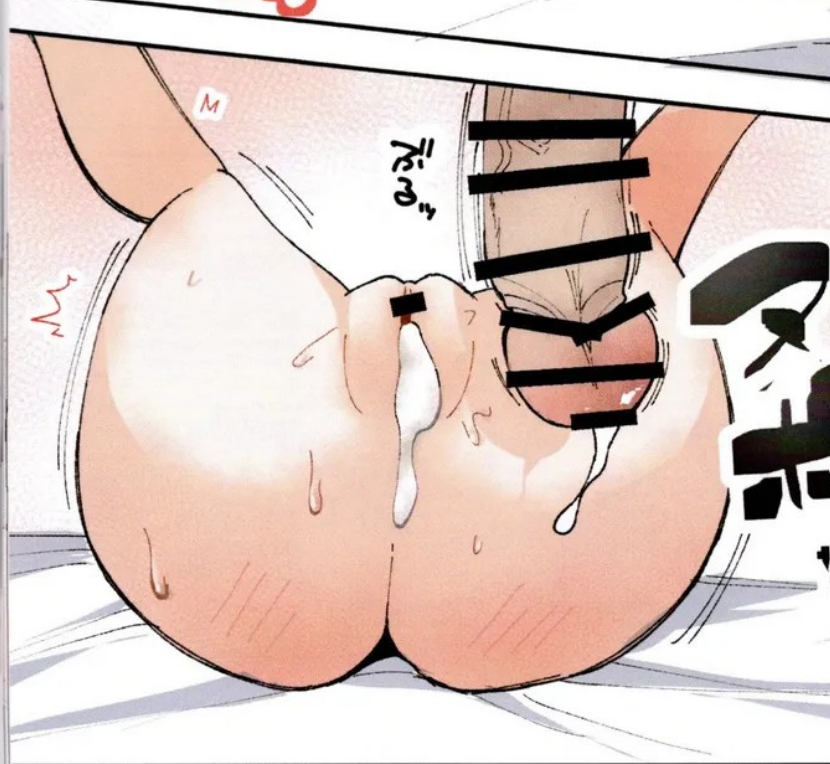


そうは
見えないなあ...
すごい
気持ちよさそう
なんだが

それは...
きつと....









ボクも一緒に
幸せになっちゃい
ました……♡

えへへ……

てれ……

ちゅっ♡
!

ハハ……
ハハ……
ハハ……
ハハ……



えっもう
行っちゃうのか

……よし!
それでは
ボクは
これで失礼
しますね



会社が爆発して
消滅した!?!
明日から無職!?!

はい……はい……
え……?
ば 爆発!?!

ん?
会社から
電話が……

それっかあ
残念だけど
おかげで今
幸せだし……まあ……

はい!
あくまで
不幸があった人への
救済サービスなので!

ちよ待って……
あ……

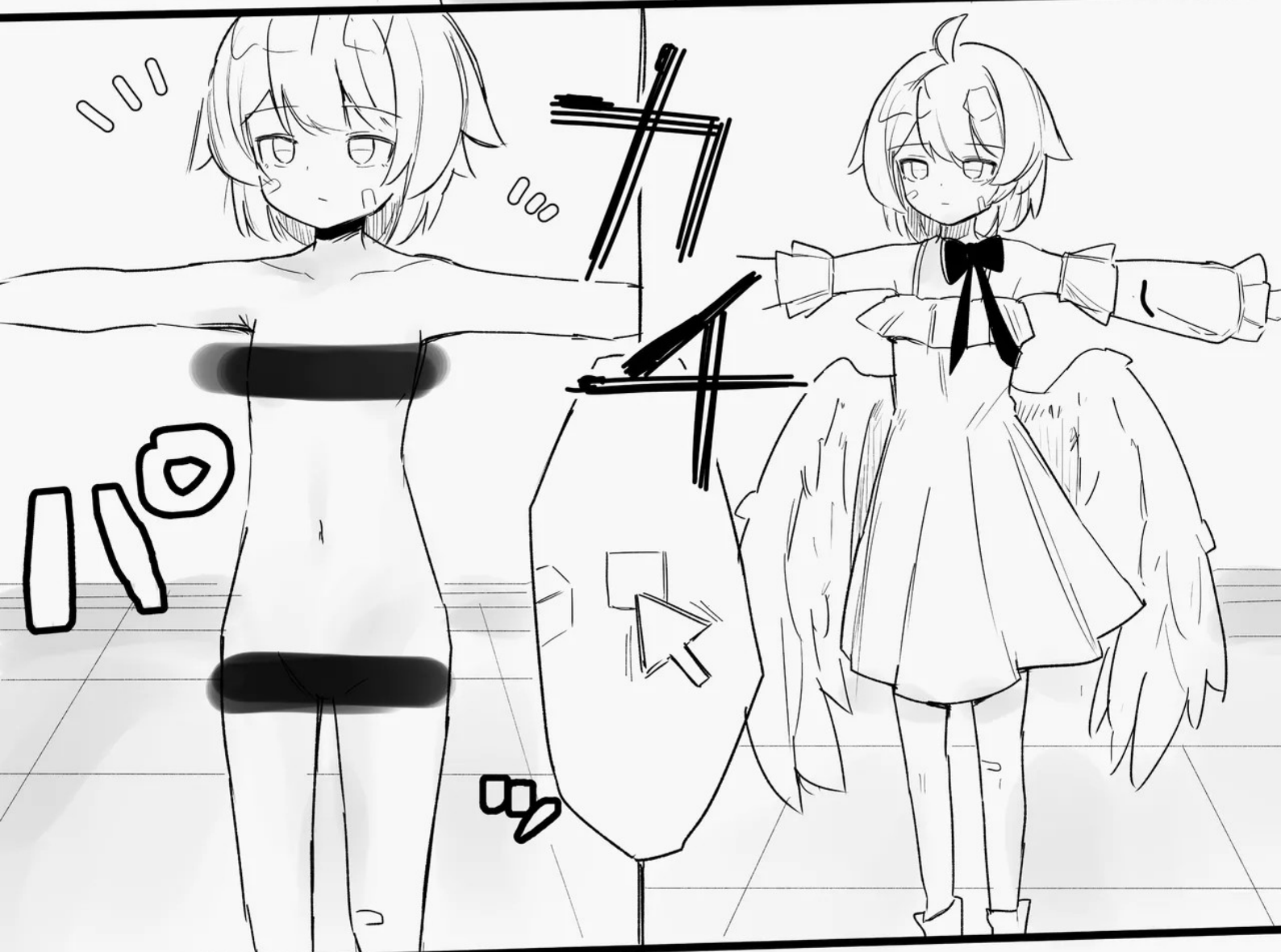


知りませーん!!

バサッ

マイクロボキニで
いちやいちやセックス
してくれないと
幸せになれないよー!

ケモハンド付きで!
ツー……
ツー……
ツー……



コンテンツ

IYA.....	1p
かーの/IYA.....	24p
Tsumiki/IYA.....	32p
minayu.....	34p
こかりあ.....	36p
175.....	40p
shibatenn.....	44p
うらべさん.....	50p
すてるすらいたー.....	51p
内藤さん.....	54p



ちんちん盆栽

この本は成人向けです

この本は同好者の間でのみ
楽しむことを想定したいわゆる同人誌です
実在の人物・団体、公式とは一切関係ありません

大人になりたい、わたしたち。

-karno-

「じゃあ、僕と付き合ってみる？」

なんて、揶揄われてるのは分かっているのに、真面目に頷いてしまったのはきつと、彼女の微かに香る煙草の匂いがわたしを大人にしてくれそうなのがしたから、だと思う。

わたしよりも少し年上の真冬ちゃんは、友達の友達、といった立ち位置で、実のところとても仲が良いとは言えないのだけれど、だからこそ相談してみようという気持ちになったのかもしれない。

「トラスが最近構ってくれないの？ そりゃあ、ほら……ヤツは最近ようやく彼女が出来たからさあ、しっぽりやることヤツてんじゃない？」

やられてるのかもしれないけどさ、なんて薄く笑う彼女のブラックコー

ヒーと比べて、わたしのメロンクリームソーダ（ちゃんとさくらんぼが乗っているやつ！）は酷く幼く見えて、

「あーあ、わたしも恋人がいたらなあ……」

なんて、一生懸命背伸びをする。大人な、あるいは大人になっていく友達に、本当にわたしだけが置いてかれる気がしていた。そんなわたしに投げかけられた彼女の言葉はまさに劇薬で、揶揄われてるのは重々分かっていたけど、とにかく目を伏せて頷いた瞬間から、彼女との関係は「友達の友達」から「恋人どうし」になったんだ。

真冬ちゃんと付き合ってみてはじめて、彼女が存外律儀だということが分かった。態度こそいつも気だるげな彼女だけれど、さうげなく車道側



「……夢で」

「……あつはは、夢のことには責任は取れないよお」

「どうやら、夕方から寝落ちしていた真冬ちゃんは夢見が悪かったらしい。ほっと気が抜ける気持ちと、頼ってくれている、執着してくれているという嬉しさが入り交じる。」

「ねえ、失望した？僕がこんなんで。……はあ、デルタにはかっこいいお姉さんでいたかったのになあ」

「ううん、真冬ちゃん。わたしは嬉しいんだよ？ずっとわたしじゃあ魅力が足りないのになって思ってたから。ずっとお情けで付き合ってたのになあ」

「まさか、その反対。この際だから言っちゃうけどさ、ズーっとデルタが好きだった。どうにかして僕のも

のにならないかなって思ってた。……でもさ、デルタはいい子だから、僕なんかと付き合っちゃダメなんじゃないかって、今でも思ってるよ」

「偶然かもしれないけど、真冬ちゃんは今までの関係を超えて、わたしにすべてをさらけ出してくれている。ねえ、わたしも一歩、踏み出してみてもいいかな？」

「……ううん、全然いい子なんかじゃないよ。わたしだって、こういうこと、考えたりするもん」

「回されている腕を解いて、そっと胸に触らせる。自分で動かしたのに、真冬ちゃんに触られている、そう認識しただけで背筋が甘く痺れた。」

「ねえ、わたしを真冬ちゃんのものにして？」



「じゃないと、わたしが」

腕をやさしく解いて、真冬ちゃんと向き合う。

「全部奪っちゃうよ?」

そう言って、唇を奪った。

「ふふ、かわいいね。大好きだよ、デルタ」

でも、威勢よく行けたのはキスマでだけ。目が据わった真冬ちゃんに下着姿でベッドに転がされると、同じく下着姿になった真冬ちゃんにぴったりと寄り添われる。

「……うう、あんまり見ないでお」

「……さを感じてるやらで、顔が熱い。」

「ダーメ。ほら、よく見せて? デルタの身体、可愛いんだからね」

腹筋、みぞおち、鎖骨、首筋と順番に撫でられ、キスを落とされる。それぞれ律儀に反応してしまっ、それ自体にまた恥ずかしくなってしまう。

「ブラ脱いじゃおっか? ほら、いつもはどんなこと考えてるか教えてほしいな?」

もう顔だけでなく全身が熱くなってきた。いじわる、と小さくつぶやきながら、スポーツブラを脱ぐ。今更だけど、可愛い下着にしておけばよかったな。

「はあ……かわいいねえ、触るね?」



ふにふにと優しく触られていているのを感じる。恥ずかしすぎて、もう視線を向けることすらできない。触れて確かめるような触り方から、くすぐったり、揉んでみたりと、だんだんとわたしの興奮を高めるような触り方になる。さっきから甘ったるい声が聞こえていたけど、それが自分の声だって気付いて、それと同時に先端に触れられて、背筋が大きく跳ねた。

「デルタの身体、すべすべで気持ちいいね？ねえ、こっちも触っていい？」

頭がぼわぼわするのを感じていると、いつの間にか真冬ちゃんの手がおへその下まで伸びていた。わたしが反射的に「あ、ダメえツ！」と声を出すのと同時に、下着の中まで滑り込んだ真冬ちゃんの手の先で、ぐ

ちっ、と大きな水音が鳴った。ダークグレーの下着は、その部分だけとつくに色が変わっている。

「ふふ、デルタも気持ちいい？下も脱がしちゃうね？」

あまりにも恥ずかしくて、顔を両手で覆ったまま、コクンと頷いた。濡れそぼった下着に軽く引っ張られる刺激を感じて、恥ずかしいやら、き、気持ちいいやらで、こぶっ…と熱いしずくがこぼれていくのを感じる。

「うう……」

「こら、隠しちゃダメだよ。せっかく可愛いんだから」

真冬ちゃんはそう言いながら、太ももの付け根を撫でたり、おへその下にキスをしてくれる。恥ずかしいよりも何よりも、どうしようもなくも



「さ、さわっ…て…?」

「っ!!」

目を見開いた真冬ちゃんは、ひとつキスを落とすと、ゆっくりとわたしのそこに手を沿わせた。目の前に火花が散り、真冬ちゃんの腕をぎゅっと抱きしめる。そのままゆるゆると撫でてくれる真冬ちゃんの動きに合わせて、お腹の奥がどんどん熱くなる。真冬ちゃんの愛と優しさを感じて、もっともっと欲しくなってしまう。

「ねえ…そのまま、いれて…? わたしの初めて、もらって…?」

「…いいの?」

「おねがい、きちやう、からあ…っ…!!」

「…うん、ごまあ、デムタのこと、貰うからね?」

真冬ちゃんの手が、もっと奥に滑り込んでくる。挿入って、くる。

「はあっ…ぐっ…う…っ!!」

真冬ちゃんの細い指が、わたしのなかに沈んでこようとするのを感じる。おなか壊れてしまったかのようになり勝手に力を入れたり緩めたりを繰り返して、わたしの目の前にはもうずっとスパークが散っている。

「大丈夫? 痛くない?」

「だい、じょうぶ、だからあっ…もっ、とお…」

気持ちいい、溶けそうなくらいに気持ちよくて、どこへ連れて行かれるのかも分からない。必至に掴んでいる真冬ちゃんの腕だけを頼りに、ギ



リギリの理性を保っていると、ぶつ
つ、と鋭い痛みと快感が走る。

「う、ぐっ…あ、イツ…ちやつ…
…!!!」

視界が、脳が真っ白になって、身体
が勝手に跳ねるのを感じる。もう何
かを考える余裕もなくなって、わた
しはそのまま意識を手放そうとし
た、その瞬間。

「愛してるよ、デルタ。」

その言葉に、わたしも、と返せたか
は分からないけど、真冬ちゃんの温
もりを確かに感じた。





まんまるリングに甘い毒
- Tsumiki4510 -

「ん〜…おいしい〜!!」

私はトラス。
今ドーナツを食べてて幸せの絶頂状態。
向かい側でガッツポーズしているのは、
同居している料理好きの○君。

「…ん、ごちそうさま!おいしかった!」
「えへへ、いつもありがとね。」

美味しい料理を食べて、ゲームをしに自分の部屋へ戻る。今日もいつもと変わらない一日…の、はずだった、のに…

「はっ…はあっ…あうっ…」
「…っ♡ゆび、とまらなっ…やばっ…♡」

わたし、発情しちゃってる?どうして…?
身体、言うこと聞いてくれない…
指、とまんない…なにも考えられない…
あ…いく、いく、うっ…!!

「…っ♡っ♡…あ…んえっ…?
ぜん、ぜん…」

…い、イッたのに、全然収まらないっ…
やっぱり、彼を頼るしか…

……気付いたら、私の身体は誘われるように彼の元へと動いていた。服の袖をつかんで、それっぽく誘惑するけど…彼は気付いてくれない。頭を軽く撫でて離れようとする彼に、私の理性が遂に限界を迎える。



反響的にどさつ、と彼を押し倒した直後、
僅かに理性が戻る。でも、身体はもう止ま
ってくれない。

「っあ…ご、ごめんっ…でも…もう、限界
なのっ…ごめ、んねっ…♡」

徐に彼の服を脱がしていき、露になっ
ソレを見て恍惚とする。

「んんっ…あつ、うっ…♡♡」

挿れた瞬間、強烈な快楽が私を襲う。
なにこれ、こんなにすごい知らない…
頭、ふわふわして…

「こっ…♡これっだめ♡こし、とまら
な、あっ♡ふああっ♡♡」

いくの、とまらない…きもちいいの、ずっ
とつづいて…なにも、考えられなっ…♡

「あっ♡やあっ♡、あ…っっ」

…翌朝、流石におかしいと思って問い詰め
たら、昨日のドーナツに媚薬を仕込んでい
たことを白状した。

「…まあ、私も気持ちよかったし？ああい
うのも、たまにはいい…ケド…」

…昨日の、凄かったな…あんなに気持ちい
なら…またやられても、許しちゃうかも。

END



おらっ!
催眠!!

ぼわわん♥



ほら思い出して。
真冬ちゃんは僕の
ペットでしょ?
人の服着てないで
こっちに着替えて?

んんん

?
最近話題の
お酒があつてさ
これ見てよ

え!
どれ?

真冬ちゃん!

…?
呼んだ?

これおっマ
ますか…?

いいねえ…
似合ってるよお

ペットだろ?
今から人語禁止な?

え、ま…
わん…♥

ほら可愛がって
やるからケツ向けろ

わん…♥

こうも簡単に
引っかかってくれるなんて
運かスなだけあるわ

もじ

じゃ挿れるぞ





うお：：プニまん
締め付けやば：：っ

がまんできないから
中に出すけどいいよね？



いつもスパッツ
チラチラさせて
誘ってきやがって！



わん…♡

末永くいっぱい
可愛がつてあげた



射精るっっっ！

あ、まだかわいがって
やるから覚悟しろよ。

めっちゃ出た
やばすぎ…

ぽちゅ♡

イエスイ！w
ピース
ピース♪

なんだお前らら？
俺の股間見たいのか？w
見たけりや

見てたいわーいお前ららー

うわあ…

#股を閉じろ
5れんきん

抜けねえ…

(ないわあ…

催眠ギミック

!!

ん

にやああああ!!!!

なんでぼく下履いて

ないの!!!!??!!

!!!!??!!

えっろ……

#股を開け

5れんきん

抜ける
👍

ありだな……

それに足が

閉じれにやい!!!!???

誰かたすけて……!!





?

?
なんでそんな
上から写真
撮っているの??

ピース?
いっしょ??

あつ…
ふっふん…w

いいよ
いっぱい撮りな
へんたいさんw





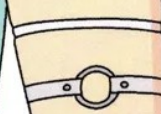
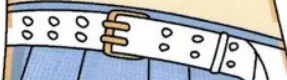
ブロン

アキラ

とろろ

クワ

クワ





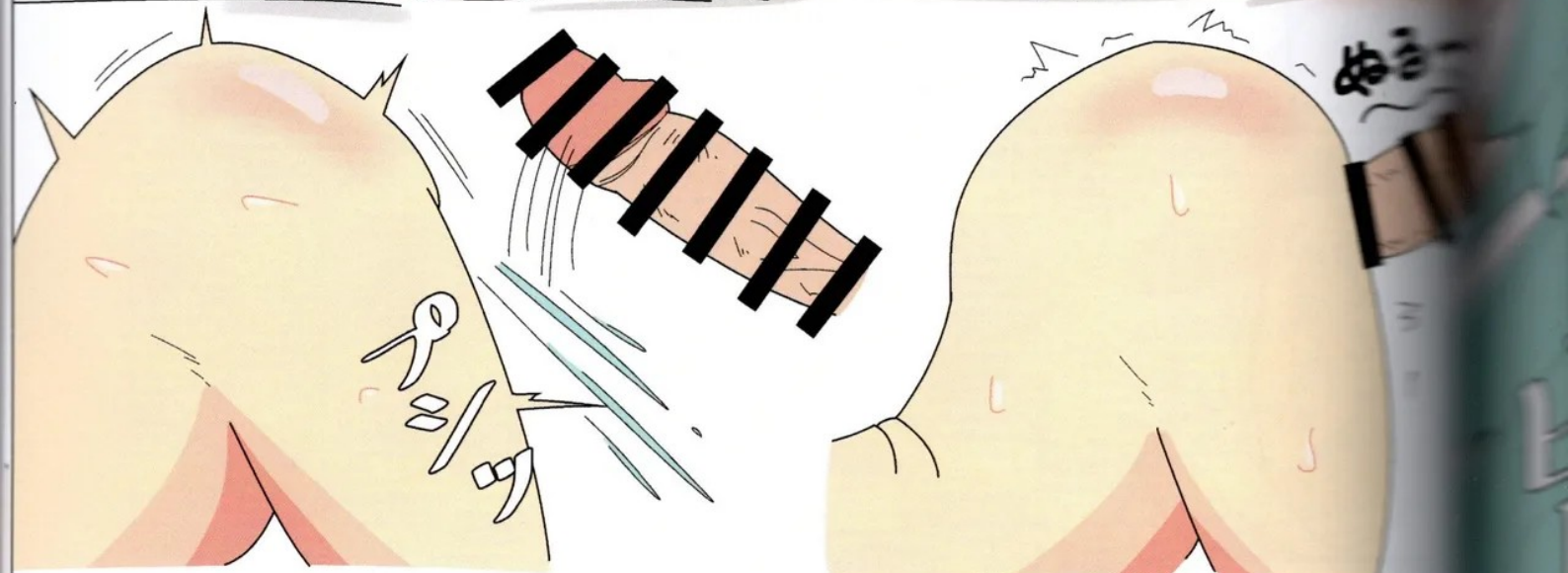
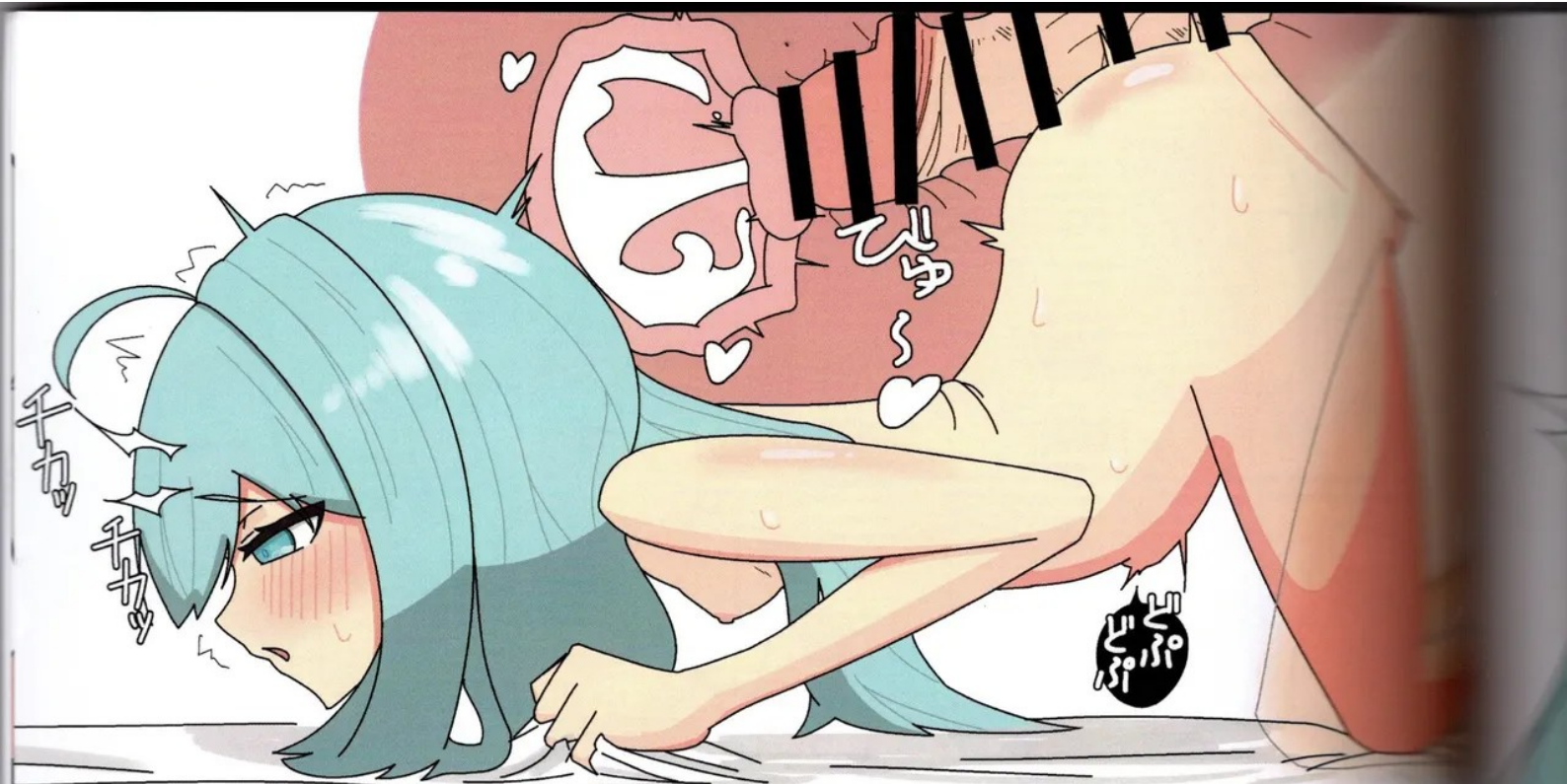
ちゅっ♡

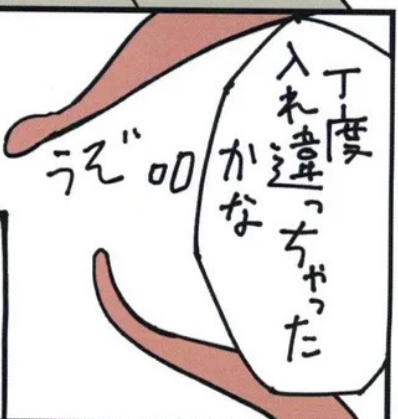
ちゅっ♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡









ひくっ

ずいぶん

これなら
逃げられ
んこうっ!?!?

あ、メニューは
操作できる...



く

うあ

らっ



ど
ど
ど
ど
ど

のこの中
何か出されて...



しゅわん...



体あつい...

あれ...
力入らない

oo

oo

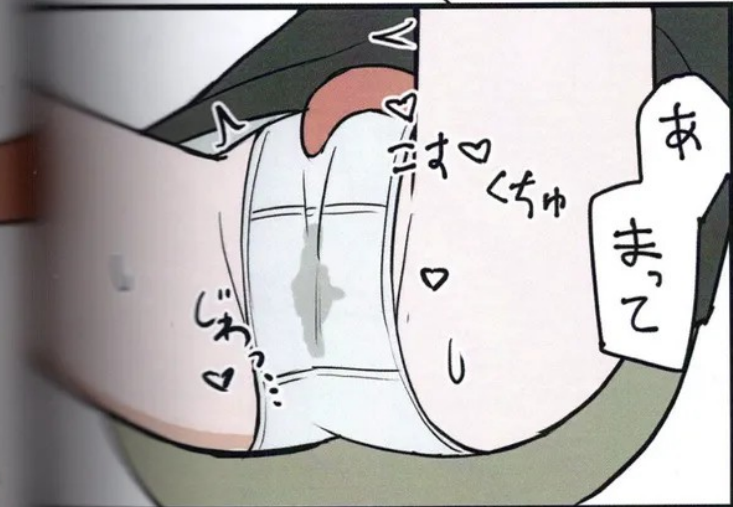


はっ

はっ

♡

はっ... ♡



あ
まって

すり♡すり♡

♡

♡



うう...
ほんつの上から
さあられるの
なんかわ...♡

♡

すり♡

すり♡



なんか
くる...♡

♡







トラスちゃん？
悪魔なんだからもつと
搾り取ってくれないと

サナティアちゃん
天使らしくない声だして
だらしないぞー？

あま

あま

あま

あま

あま

ごめんなさい

びびり

だま

ちんぽ

ちんぽ

ちんぽ



びびり

びびり





あっ!!

えっ!?



遊びに
来たよ

トラスちゃん

ひょこっ



ドキドキ
ドキドキ
ドキドキ
ドキドキ



あっあの…

サナティア
ちゃん…

こっこれは
その…



トラス
ちゃん♡

ちょっ
サナティア

ガッガッ



人の域に留めておいたデカパイが本来の姿を
取り戻していく。

人の欠けたブレンドシェイプを解いて、
シェイプキーを超えた爆乳神に近い
存在へと変わっていく。

尻と乳とエロ布を紡ぎ、
相補性の巨大な電腦空間で、

自らをドスケベアバターに
改変させているんだわ。
純粹に肌面積を広げる、
ただそれだけのために……











IYA

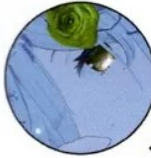
…うんち

パスワードは「ちんちん盆栽」



かーの

…うすいからだの女の子同士に働く力学を解き明かすことでノーベル賞を狙っています



Tsumiki

…いちゃらぶせつくすは、いいぞ



minayu

…催眠っていいですよ。おらっ催眠！人語禁止な???



175

…多分断面図が好きなのかも



shibatenn

…にゃーん(ホバチャをよろしく)



うらべさん

…薄い体最高!! サナ〇ィアちゃん最高!!! 微塵の膨らみのない胸が大好きです。いいよね



すてるすらいたー

…サナトラ2Pスク水なかよし描きました!
きもちよくてふにゃふにゃになってる女の子はかわいい!! すてるすらいたー



内藤さん

…次はもっとえちちなシチュエーションで描きたいですねえ!



わるい子クラブ 創刊号

令和七年十一月十六日

発行サークルい屋

代表 MYA

連絡先 iyadd00eye@gmail.com

印刷所様 プリントオン株式会社

お借りしたアバター

サナティア-Sanotia-

【オリジナル3Dモデル】

…ふかんじ屋りら様

【デルタフレア】オリジナル3Dモデル

…VERMILION.Studio 様

真冬 Mafuyu / オリジナル3Dモデル

…ぷらすわん 有坂みと様

3Dモデル『トラスとウェッジ』

…Nylon-Cart ITネマル様